

農村災害ボランティアだより

【第8号：2015年12月発行】

【平成27年度ボランティア活動状況】

農村災害ボランティアの平常時活動として、施設管理者からの要請に基づき施設管理者に代わり施設の点検を行っています。

本年度は道央・空知・道北・道東の4グループが意向調査に基づき5地域で施設の点検を実施しました。後日結果を施設管理者へ報告する予定となっています。

農村災害復旧専門技術者（ボランティア重複）	農村災害ボランティア	合計
76（15）名	137名	198名

なお、H26年度までの点検結果については、水土里ネット北海道のホームページに掲載されていますので参照してください。

<http://www.htochiren.jp/saigai/kyougikaikei.htm>

グループ名	活動先団体名	点検施設	活動時期	備考
空知	篠津中央土地改良区	排水路1条	H27.8.19	17名参加
道央	壮瞥町	頭首工1カ所	H27.9.30	13名参加
道北	東和土地改良区	ため池1カ所	H27.8.20	19名参加
	永山土地改良区	用水路1条	H27.9.15	6名参加
道東	本別町	排水路1条	H27.8.25	9名参加



【ボランティア等の登録状況】

平成27年度に農村災害ボランティア18名の方が新規に『農村防災・災害ボランティア活動協議会』に登録されました。

近年、農村災害復旧専門技術者の新規認定者数が減少しています。また、認定者が次の更新を行わないなど更新者数も減少傾向となっています。

H28.2月に「災害復旧技術向上のための講習」を開催予定しています。積極的な受講をお願いします。

◆『農村災害復旧専門技術者』

所属	開発局	北海道	市町村改良区	土地連	コンサル ゼネコン	合計
現役	4	21	3	1	13	42
OB	8	17	7	2		34
合計	12	38	10	3	13	76

◆『農村災害ボランティア』（4グループ）

〔道央G（37名）～石狩・渡島・檜山・後志〕〔空知G（40名）～空知・胆振・後志〕

〔道北G（32名）～上川・留萌・宗谷〕〔道東G（28名）～オホーツク・十勝・釧路・根室〕

【災害復旧事業技術担当者会議を開催】

近年、災害発生の減少に伴い災害経験者が減少する中、大規模な災害が発生した場合、迅速な対応が図られるよう、6月17日（水）～18日（木）の2日間にわたり、道・市町村・土地改良区の職員や災害復旧専門技術者・農村災害ボランティアの方66名が参加し『平成27年度災害復旧事業技術担当者会議』を第2水産ビル会議室において開催しました。

当日は農林水産省防災課災害査定官より災害復旧事業制度や採択条項、災害復旧工法等について説明いただき災害査定実務演習に取り組みました。

参加者の約8割が災害未経験者であることから、演習では専門技術者やボランティアの皆さんのリーダーシップが大いに発揮されたところです。



【H27発生災害の概要】

4月豪雨災（八雲町）



8月豪雨災（弟子屈町）



8月豪雨災（標茶町）



台風23号災（大空町）



台風23号災（大空町）



【発行・編集】

『農村防災・災害ボランティア活動協議会』

水土里ネット北海道 事業管理グループ

TEL011-221-2292 Fax 011-221-2258

E-mail : info@htochiren.jp

『農村防災・災害連絡協議会』

北海道農政部農村整備課 防災災害グループ

TEL011-204-5425 Fax 011-232-4128

E-mail : nosei.noson1@pref.hokkaido.lg.jp